

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-117923(P2013-117923A)

【公開日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2011-266124(P2011-266124)

【国際特許分類】

G 0 6 F 1/14 (2006.01)

G 0 4 F 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 1/04 3 5 2

G 0 4 F 3/00 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月2日(2014.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の外部端子と、

第 2 の外部端子と、

前記第 1 の外部端子に入力された信号を遅延させる遅延回路と、

所与の設定値をカウントし、前記設定値のカウントを終了すると、前記第 2 の外部端子を介して計測終了信号を出力するカウント回路と、を含み、

前記カウント回路は、

前記計測終了信号の出力後、前記第 1 の外部端子に所定の信号が入力されると、前記所定の信号が前記遅延回路により遅延した信号に基づいて、前記計測終了信号の出力を終了する、タイマー装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記カウント回路は、

前記設定値のカウントを終了した後に新たに前記設定値をカウントする、タイマー装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記第 1 の外部端子に入力される前記所定の信号が前記遅延回路により遅延した信号に基づいて、前記所定の信号の入力時間と所与の判定時間との大小関係を判定する入力時間判定回路をさらに含み、

前記カウント回路は、

前記入力時間判定回路の判定結果に応じて、カウント値を初期化するか否かを選択する、タイマー装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

第 3 ～ 第 n (n ≥ 3) の外部端子をさらに含み、

前記カウント回路は、

前記設定値を格納するバッファを含み、

前記入力時間判定回路の判定結果に応じて、前記バッファに格納されている前記設定値を前記第3～第nの外部端子に入力される信号に応じた設定値に更新するか否かを選択する、タイマー装置。

【請求項5】

請求項3又は4において、

前記入力時間判定回路は、

第1のクロック信号の所定周期の時間を前記判定時間として、前記所定の信号の入力時間と当該判定時間との大小関係を判定する、タイマー装置。

【請求項6】

請求項1乃至5のいずれか一項において、

第 $n+1$ ～第 m ($m \geq n+1$)の外部端子をさらに含み、

前記カウント回路は、

前記第 $n+1$ ～第 m の外部端子に入力される信号に応じた周波数の第2のクロック信号に基づいて、前記設定値をカウントする、タイマー装置。

【請求項7】

請求項1乃至6のいずれか一項に記載のタイマー装置を含む、電子機器。